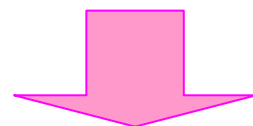


こどもワークショップ2010年 活動報告書

【スタッフの感想・反省】

- グループでごみを減らすアイデアについて話し合いをしたが、水筒の持参やペットボトルのキャップ回収など、実際に子ども達が取組んでいることや、ごみが多いために動物や昆虫、植物が困っている等、多くの意見がでた。
- 自分たちの考えを出した後「どんなふうに描いたらいいかわからへん」、「絵が下手やしかけへんわ〜」と言いながらも、描き始めるとそれぞれに分担し、スペースのことなどを考えながら描くことができた。
- 保護者も多く見学されたが、口をはさまずじっと見守っていて、子ども達も自分たちで取組むことができたのではないかな。
- 発表することも貴重な体験の一つなので、立ち方や発表したいことを上手く引き出すなど、スタッフのスキルをあげたい。
- グループ分けについて、知らない人と話し合いをすることもひとつの勉強だが、今回は友人知人を同じグループにした。打ち解けているので、比較的話し合いが進みやすかった。
- 今回は、壁紙の重量の関係で床で描くことになったが、参加人数も多かったため、十分なスペースがとれず、描きにくそうな場面が散見された。大きな用紙に描くことは続けていきたいが、描くスタイルについては、再考する必要がある。
- せっかく京都市内の小学生が多く来てくれているので、めぐレット（京都市内の子どもたちが学校給食の牛乳パックを洗浄したものを原料に作られている再生トイレットペーパー）を展示するなど、身近な環境活動を意識できるようにしていきたい。

来年度に向けて



来年度も、未来を担う子ども達に環境について考えて欲しい、学んで欲しいという思いから、引き続きこのこどもワークショップを開催したいと小委員会では考えています。

そして来年度も、この“こどもワークショップ”に参加したい、興味がある、一緒に何かできないかな？という団体および、一緒に活動を企画・運営していく委員会のメンバーを募集します。

プログラムについては、今年度は約2時間で開催しましたが、内容・時間・場所等、ご相談させていただきたいと思います。まずは下記までお気軽にご連絡下さい。

【問い合わせ先】

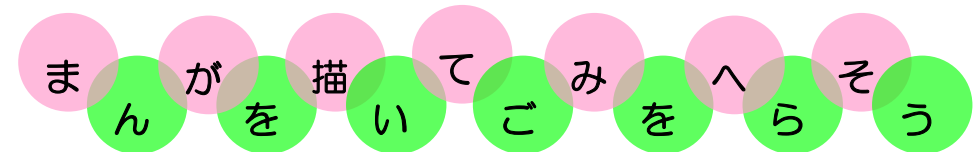
京都市ごみ減量推進会議 事務局
〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内 13 京エコロジーセンター 活動支援室内
電話 075-647-3444 FAX 075-641-2971



“こどもワークショップ”は今年で開催10年目を迎えました。このワークショップは、環境漫画家であり、ごみ博士のハイムーン先生のお話を聞き、ごみを減らす取組について考え、それを漫画に描いて発表するというものです。

今年は昨年に引き続き、NHK京都放送局と共催で、「NHK わくわく体験なつやすみ」のワークショップの一つとして募集し、定員を大幅に上回るお申込みをいただきました。

京都市ごみ減量推進会議
普及啓発実行委員会 こどもワークショップ小委員会



○日 時 : 平成22年8月9日(月) 13:00~15:00

○場 所 : NHK京都放送局

○対 象 : 小学生

○参加人数 : 37名
(募集定員 30名)

○広 報 : NHK京都放送局

・カラー刷りチラシ

京都新聞折込2万部、会館内配架

・ホームページでのイベント告知

京都市ごみ減量推進会議

・カラー用紙印刷のチラシ

当会会員発送、市内児童館(約120ヶ所)発送

会場周辺児童館6ヶ所配架

イベントにてチラシ配布(2カ所 約300枚)

・ホームページでのイベント告知

○プログラム : 11:00~12:00 放送局見学ツアー

スタジオ見学、アナウンサー体験など

12:00~13:00 お昼休憩

13:00~15:00 こどもワークショップ

ハイムーン先生によるごみについてのお話・クイズ(20分)

まんがの描き方教室(10分)

グループ毎に何を描くか話し合う(10分)

まんがを描く(60分) *途中グループごとに記念撮影

グループ毎に発表(20分)



みんなで描いたよ！「ごみへらし絵巻」



「いらぬものは買わない。」

「車に乗らずに歩いて行こう！」

「ぼくたちのすみを返せ！」

「リサイクルは大事！」

「ペットボトルのリサイクル」

「きれいな山や川を残そう」

♪こどもたちが発表してくれたごみ減らしのアイデア♪

- エコ袋を使って、レジ袋を使わない。
- 朝ご飯、残さず食べよう。残るとごみになる。
- お皿に出されたものは、全部食べてぴっかぴか！
- リンゴは丸かじりで食べよう！リンゴの皮のごみが出なくて済むよ。
- いらぬものは買わない。買うとごみになっちゃう。でも買っちゃったら残さず食べようね。
- 車に乗って行かずに、歩いて行くと、CO2が減る。
- トイレの水は流しすぎない。
- ごみ拾いをしよう。
- ペットボトルにお茶を入れて再利用。みんなもマネしてね。
- 人がいらなくなったものを、もらいましょう。
- 着られなくなった服をあげる。
- ごみはちゃんと分別して出さないと、朝から大変。
- 牛乳パックのリサイクル⇒トイレトペーパー
- リサイクルの種類はとっても多いよ。みんなでリサイクルしようよ！
- ごみを燃やすと、灰になって埋め立てられて終わってしまうから、リサイクルしよう！
- ペットボトルのキャップを集めると1人の命が助かるから、キャップを集めよう！



- 山にペットボトルや缶を捨てると、山がきたなくなるからやめてね。
- ぼくの木が切られた。ぼくの蜜が無くなった。(虫さんの思い)
- 人間はなぜこんなにごみを増やすんだ！ぼくたちのすみを返せ！(カメさんの主張)

○こども達の作品は、NHK 京都放送局(8月10日～20日)と、京エコロジーセンター(10月4日～17日)に、展示いただきました。
○このイベントに先立ち、ハイムーン先生のコミックパネル19作品を、NHKハートプラザギャラリーに展示いただきました。(7月28日～8月9日)



【講師 ハイムーン (High Moon) 先生のご紹介】

本名：高月 紘氏

環境漫画家。日本漫画家協会会員。子供の頃より漫画を描き始め60年になる学生時代には漫画「あーあ」「空缶」を自費出版。その後「漫画ゴミック廃貴物」(日報出版)、「絵コロシー」などを出版。日本全国をはじめ、イギリス、中国、インドネシア、マレーシアでも個展を開催。



ハイムーン氏の漫画は、風刺をこめ、シンプルでわかりやすく、誰もが好感を持つ愛らしい絵である。それゆえにその絵はこの上もない教材として、市民グループや自治体、研究者からも多くの依頼があり、漫画やイラスト、本の挿絵、ポスターとして使われている。

さらに10年ほど前からは漫画を使ってのワークショップも行うなど、子ども達の環境教育にも情熱を燃やしている。ハイムーン氏は石川県立大学教授で、京(みやこ)エコロジーセンター館長でもある。



【協力団体：日本環境保護国際交流会のご紹介】

日本環境保護国際交流会 (J.E.E.)

1987年に設立された国際的な非営利の市民グループで、環境教育を目的として活動しています。こども達にわかりやすく環境問題を人形劇で伝えるなど、情報の発信と人的交流を行っています。京都市ごみ減量推進会議会員団体。(J.E.E.=Japan Environmental Exchangeの略称)

URL <http://www.jeeeco.org/>

